

「生命のがん教育」を実施しました

(平成29年度2学期分)

平成29年度2学期は32校に出向き、「生命のがん教育」を実施しました。

◆授業形式

- (1) 医療従事者によるがんについての講義 (20分)
- (2) がん経験者のお話 (20分)

◆授業風景



(井手町立多賀小学校)



(舞鶴市立青葉中学校)



(京都府立京都八幡高校
南キャンパス)

◎小学校 (7校)

実施日	実施校	学年	担当講師*
9月13日	南丹市立園部小学校分教室	6年	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
10月12日	井手町立多賀小学校	5年	京都府山城北保健所 所長 大熊 誠太郎
10月20日	南丹市立八木東小学校	6年	京都民医連中央病院 副院長 田中 憲明
11月29日	福知山市立大正小学校	6年	市立福知山市民病院 外科医長 川上 定男
12月5日	福知山市立美鈴小学校	4～6年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
12月5日	亀岡市立畑野小学校	5, 6年	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
12月20日	亀岡市立東別院小学校	4～6年	京都府立医科大学附属病院 助教 鎌田 和浩

<児童の感想>

☆ 「がん」は年々増えてきていて、いまでは2人に1人が「がん」になっていることにすごく驚きました。

「がん」とはとても怖い病気なんだと改めて感じることができました。

☆ 「がん」は病気の中でも有名だけど、たくさんの種類の「がん」がある事がわかりました。

☆ たばこを吸う人と吸わない人で肺の見た目がちがうのでとても怖いと思いました。

☆ 「がん」は2人に1人がなるという事がわかれてよかったです。おとなになったら絶対に検診に行きたいです。

◎中学校（18校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
9月13日	南丹市立桜が丘中学校	全員	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
10月16日	舞鶴市立和田中学校	3年	舞鶴医療センター 小児科 友康 千紘
10月16日	京丹後市立丹後中学校	3年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
10月16日	京丹後市立弥栄中学校	3年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
10月17日	京丹後市立久美浜中学校	3年	京都府丹後保健所 所長 山田 明
10月19日	京都市立高野中学校	1年	京都大学医学部附属病院 助教 石井 隆道
10月26日	木津川市立木津第二中学校	1年	京都医療センター がん診療部長 山崎 誠二
11月2日	京都市立旭丘中学校	3年	京都鞍馬口医療センター 名誉院長 能美 伸八郎
11月7日	舞鶴市立青葉中学校	3年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
11月7日	舞鶴市立白糸中学校	3年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
11月7日	舞鶴市立若浦中学校	3年	舞鶴医療センター 外科部長 山下 哲朗
11月11日	宇治市立榎島中学校	3年	宇治徳洲会病院 消化器内科 医長 竹本 隆博
11月16日	京丹後市立大宮中学校	3年	京都府立医科大学附属北部医療センター 副病院長 落合 登志哉
11月30日	綾部市立八田中学校	全学年	綾部市立病院 呼吸器外科 岩崎 雅

12月5日	舞鶴市立加佐中学校	3年	京都府中丹東保健所 所長 常盤 和明
12月6日	福知山市立夜久野中学校	3年	京都府中丹西保健所 所長 糸井 利幸
12月15日	城陽市立東城陽中学校	3年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹
12月19日	相楽東部広域連合立 和東中学校	3年	京都府山城南保健所 所長 時田 和彦

<生徒の感想>

- ◇ 「がん」はいつなってもおかしくない病気であり、最初の方は自覚症状がないため、定期検査を受けて「がん」が大きくなる前に取り除きたいと思いました。
- ◇ 「がん」という病気の名前や死んでしまうという事はわかってはいたけれど、なぜ亡くなるのか何人くらい亡くなってしまうのかなど詳しいことを知る事ができてよかったと思いました。この事から生活習慣を見直してよりよい生活をしたと思います。
- ◇ 私には「がん」を直すという事ができないから、その人の心の不安を消してあげたいと思いました。また、そうならないように日頃の生活を見直そうと言えればいいなと思います。
- ◇ 「がん」のことについてくわしく知らなかったし、そんなにも身近に感じられていない、考えられていなかったけど、今日話を聞いて「がん」は誰にでもなる可能性があって、周りにいる人がなる可能性があることを知りました。
- ◇ 毎日体の細胞が入れ替わっている事を初めて知りました。がん細胞はその入れ替わっているものの中にあり、いつ「がん」になるかわからないので、気をつけたいと思いました。

◎高等学校（7校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
9月20日	京都府立綾部高等学校	1年	京都府立医科大学附属北部医療センター 外科 副医長 越野 勝博
9月29日	京都府立宮津高等学校	2年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也

10月4日	京都府立綾部高等学校 東分校	1年	京都府立医科大学附属北部医療センター 外科 副医長 越野 勝博
10月13日	京都府立京都八幡高等学校 北キャンパス	1年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
10月25日	京都府立農芸高等学校	2年	京都桂病院 副院長 寺田 泰二
11月10日	京都府立京都八幡高等学校 南キャンパス	1年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
11月15日	京都府立園部高等学校	2年	京都第二赤十字病院 消化器内科 酒井 浩明

<生徒の感想>

- ◇ 「がん」についてある程度は知っているつもりでいたけれど、講演を聞いて全然知らなかったんだと気づきました。
- ◇ 今までの生活をしっかりと振り返り、課題点を直していけるように頑張りたいと思った。
- ◇ 生活の中で「がん」を発見するのに、少しの体の変化に気付かないととても危ない病気の一つなど・・・がわかれて良かったです。たとえ「がん」ではなくても、ほかの病気にもしっかりと予防をしたいです。
- ◇ 実際に“がん”を経験した方の話では、実際の話ということで理解が深まりました。「家族の支えがあってこそ治療をがんばれた」という話が印象に残りました。だからもし自分の家族が“がん”になったら精一杯支えたいと思いました。

※担当講師の所属・役職は授業実施当時のものです。

「生命のがん教育」の実施を検討されている学校は健康対策課がん対策係までご連絡ください。

TEL：075-414-4766 電子メール：kentai@pref.kyoto.lg.jp